

## 園長のひとりごと

2月の旭川は、例年に比べても道内の他都市に比べても雪が少なかったのですが、寒暖差が激しく、2月前半は氷点下21度を示す寒い日が続き、中旬を過ぎると突然+13度と温かくなり、一挙に春の日になってしまいこの変化に体がついていけないような気がします。

「シバレタ」ままであれば心配ないのですが、急に暖かくなると屋根雪が落ちて来たり雪解け水で道路が冠水したりと違う心配をしなければなりません。今年も道外他都市では異常な暴風雪に見舞われ、航空会社や鉄道では計画運休が珍しくなくなりましたが、まだ3月が残っていることを忘れずに過ごさなきゃなりませんね。

決して「今年は〇〇が少なかったね!」とか「〇〇な日が多くて、過ごしやすかったね!」等とは口にしないで下さいね。お空の神様のご機嫌を損ねる事になったら大変です……

間もなくコロナ禍を経て1年が経過します。この間、外国からの観光客の多い事多い事!一時は観光客=中国人・韓国人などアジア系の方が主流であった気がしますが、今ではホントに「ガイジンサン」(スイマセン、差別では無くお国がわからないので……)が多くなりました。先日も札幌の豊〇峡温泉に行った時も、湯船にも食堂にも「ガイジンサン」が多くいらっしゃいましたね。沢山の方が日本に来てくれるのは良いのですが、先日もテレビでニセコの様子が写され、ラーメン1杯3,000円とか、チーズバーガー1,900円とか、この世の食べ物か?と思うような料金でした。働いている人の時給も北海道の最低賃金の倍以上だとかで、ニセコ近隣の福祉施設の園長先生と話した時には、「うちで働いてくれる人は見つかるはずもないし、そんなラーメン食べに行きたいとも思わない!」と言っていました。コロナで人の動きが止まった後、急に動き出した弊害なのかもしれませんが、もう少し慣れていくための時間は必要なようですね。

令和5年度のこども園の活動も3月のひと月を残すのみとなり、子どもたちも身体面はもとより、日々の活動で知的好奇心を満たしながら精神的にも成長し、4月の入学・進級を楽しみにしながら毎日を過ごしております。

この時期、子どもたちの気持ちも期待と不安が混在し、ちょっと落ち着かない様子を見せる事があるかもしれませんが、ご家族の皆様の笑顔や励ましが自分に向けられていると言う「絶対的な安心感」で、笑顔で「次の一歩」を歩み出せるよう応援を宜しくお願い致します。

